

経営比較分析表（令和元年度決算）

熊本県 南関町

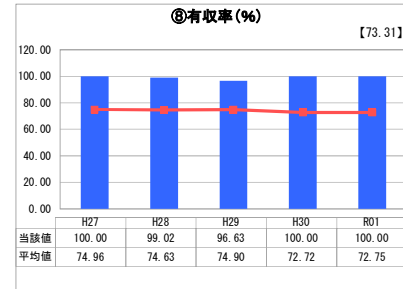
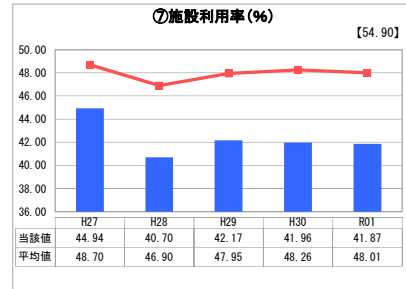
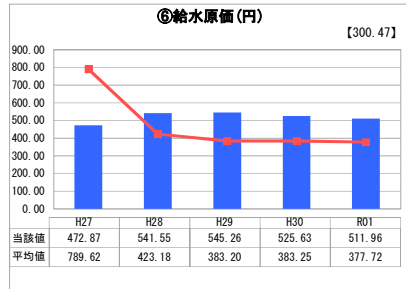
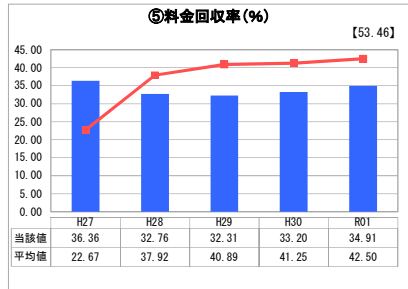
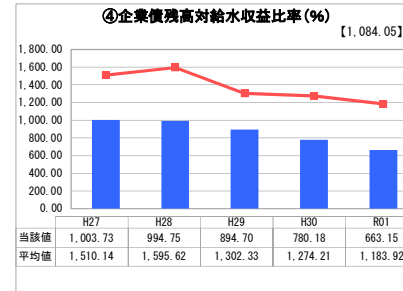
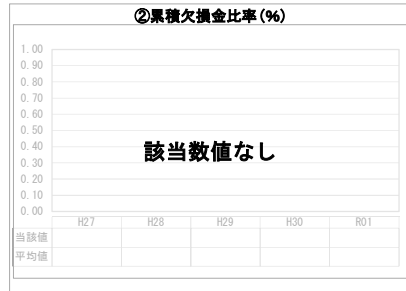
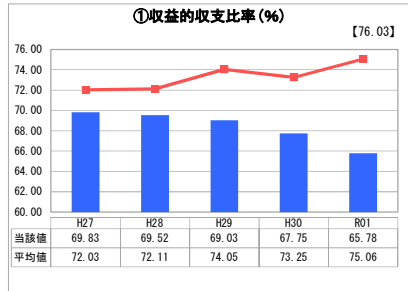
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	0.94	3,300	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,633	68.92	139.77
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
90	0.03	3,000.00

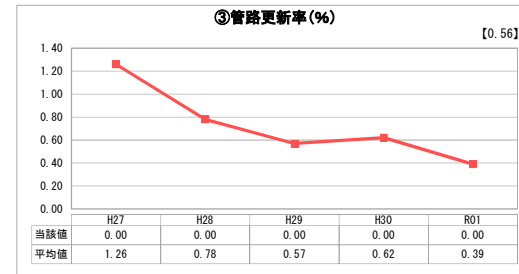
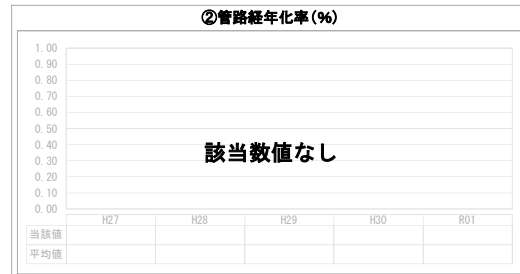
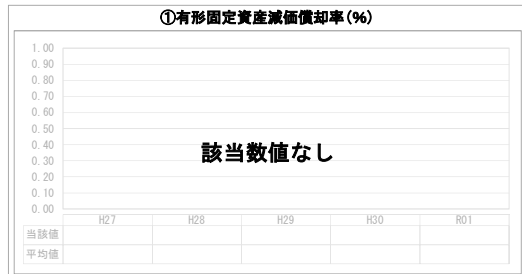
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

現在、簡易水道給水人口（計画人口180人規模）が減少傾向にあり、料金収入もそれに伴い減少している。今後、簡易水道供給区域拡大の計画もない為、人口の増加も見込めない状況である。

（給水人口の推移）
 H27年度 100人
 H28年度 102人
 H29年度 101人
 H30年度 93人
 R1年度 90人

今後は、簡易水道事業維持の為、料金体系や施設管理等を含めた経営の検討を行っていかねばならない。

2. 老朽化の状況について

簡易水道事業はH8年度より給水開始し、24年経過している。老朽化については施設や管路等の更新時期が来る前に一度調査を行い、施設及び管路等の状況を把握しなければならないと考える。

全体総括

南関町では、水道事業の規模が小さく簡易水道事業、飲料水供給施設等を含め水道供給率は、町全体の約8%である。

水道事業の規模が小さく財政的にも厳しい状況にあり、施設の更新時期を迎えることになると更に厳しい経営状況となり、将来の給水人口等の数値の経過次第では、ダウンサイジング等も視野に入れながら経営をする必要があると考える。

現在の水道事業 1箇所
 給水件数 34件
 給水人口 90人